

芸術祭の開催に向け決めていく事項

(芸術祭を開催する上で決めるべき重要な項目は多岐に渡るが、成功の鍵は初期段階での**目的とコンセプトの明確化**、そして**運営体制の確立**にある。)

1. 企画・基本方針に関する事項（最も基本的で重要な事項）

項目	内容	八尾市の場合
目的・趣旨	なぜ芸術祭を開催するのか (例：地域活性化、芸術文化の振興、国際交流など)	
テーマ・コンセプト	芸術祭全体のコンセプトや方向性を示すテーマを設定 (例：「海の復権」、「ソーシャルインパクト」など) テーマの傾向としては、社会課題とアートを結び付けるもの、地域性の掘り下げ、未来への展望などが挙げられるが、開催場所により、多岐に渡っている。	
ターゲット	誰に向けて開催するのかを明確に絞り込む (例：一般市民、国内外の観光客、特定の芸術分野のファンなど)	
芸術の種類	舞台芸術、現代アート、メディア芸術など、どの分野を中心に扱うかを決定	
開催規模・達成したい目標	国内外からの参加規模（国際芸術祭か地域密着型か） 達成したい具体的な目標（KPI）（例：来場者数、経済効果）	
イベント名	芸術祭の顔となる正式名称を決定	